

平成30年度 奈良教育大学保育士資格特例講座募集要項

1. 趣 旨

この講座は、保育士資格特例に係る規定に基づき、幼稚園等で勤務する幼稚園教諭、及び幼稚園教諭免許を有する者で幼稚園等において実務経験を有する者を対象に、保育士資格取得のための特例講座を帝塚山大学及び奈良佐保短期大学と連携して開講するものです。

2. 入学の時期 5月

3. 授業科目・単位・日程

奈良教育大学における開講授業は次のとおりです。入学後は、奈良教育大学科目等履修生として受講することとなります。

授業科目及び担当予定者	単位	受講定員	授業日程
【福祉と養護】 特任講師 篠原 拓也	2	20	6月23日（土） 10:40～12:10、13:10～16:20 6月30日（土） 9:00～12:10、13:10～16:20 7月7日（土） 9:00～12:10、13:10～16:20 7月14日（土） 9:00～12:10、13:10～16:20
【相談支援】 教授 横山 真貴子 准教授 廣瀬 聡弥 特任講師 松原 未希 特任講師 篠原 拓也	2	20	8月17日（金） 9:00～12:10、13:10～16:20 8月18日（土） 9:00～12:10、13:10～16:20 8月24日（金） 9:00～12:10、13:10～16:20 8月25日（土） 9:00～12:10、13:10～14:40

※先着順で受講定員に達した時点で受付を終了します。

4. 出願資格

下記の（1）又は（2）に該当する者とします。

- （1）幼稚園等に勤務する幼稚園教諭のうち、保育士資格を有していない者で、所属長に本講座の受講を推薦された者。
- （2）幼稚園教諭免許を有する者。

なお、保育士資格申請にあたっては、申請時に幼稚園等において3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有することが条件となります。

5. 出願先・期間

<出願先>

奈良教育大学 入試課

〒630-8528 奈良市高畑町 (TEL) 0742-27-9126

<出願期間>

平成30年4月2日（月）～4月16日（月）

窓口受けは、各日とも9時から17時まで（正午～13時及び土日祝日を除く）とし、郵送の場合は書留速達郵便により、出願期間最終日の17時までの消印有効とします。期間を過ぎて到着した場合は、出願を受理しません。

ただし、先着順とし、受講定員に達した時点で受付を終了します。

6. 出願書類等

下記の該当する出願書類等（証明書等を含む）をすべて取りそろえ、出願期間内に提出してください。

書 類 等	備 考
(1) 受講願書及び履歴（裏面）	本学所定の用紙に必要事項を記入し、出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。 裏面には、学歴及び職歴を記入してください。
(2) 勤務先所属長の推薦	現に幼稚園等に在職中で、所属長に推薦されて受講しようとする者は、上記受講願書の所定欄に、所属長の推薦を得てください。
(3) 卒業証明書又は修了証明書	最終出身学校の長又は学部長等が作成したもの（原本）を提出してください。
(4) 学業成績証明書	最終出身学校の長又は学部長等が作成したもの（原本）を提出してください。
(5) 幼稚園教諭免許状（写）	幼稚園教諭免許状の写又は授与証明書（原本）を提出してください。
(6) 検 定 料 （9,800円） ※ただし、所属長の推薦を受けている者は、納める必要はありません。	下記の本学銀行口座に、9,800円を払い込んだうえ、 <u>利用明細等のコピーを受講願書裏面に貼付してください。</u> なお、 <u>振込名義、金額</u> が明記されていること。
(7) 住民票の写し等 （右欄1又は2の場合のみ提出。 該当する書類については各自治体に問い合わせてください。）	1. <u>証明書類の氏名と現在の氏名が異なる場合は、同一の者であることが認められる公的な書類を提出してください。</u> 2. <u>日本国籍を有しない者は、市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。</u> 出願時に外国に居住している場合は、入学後に提出することも可能です。

（注意事項）

- ① 出願書類受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、出願後、受信地及び連絡先を変更したときは、ただちに、入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理された書類はいかなる理由があっても返還しません。
- ④ いかなる事情があっても、既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。
ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

【検定料振込先】

銀行名：南都銀行^{なんとぎんこう}（金融機関コード：0162）

支店名：紀寺支店^{きでらしてん}（店番：070）

口座番号：0385871（普通）

口座名義：国立大学法人奈良教育大学^{こくりつだいがくほうじん ならきょういくだいがく}

※志願者名と振込名義が異なる場合は、志願者名を併記してください。

7. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 28,200 円
(2) 授業料 1 単位 14,800 円 (1 科目 2 単位 : 29,600 円)

※ 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(備考)

1. 入学料及び授業料は入学手続き日に必ず納入してください。
2. 既納の入学料及び授業料は返還しません。
ただし、次に該当する場合は、本人の申し出により授業料を返還することができます。
 - ・ 授業科目が不開講となった場合
 - ・ 時間割が変更となり、履修が不可能な場合
3. 現職教育のため任命権者の命により派遣される者については、検定料及び入学料は徴収しません。

8. 選 考

書類選考を行います。

9. 合格通知及び入学手続

選考の結果、合格された者には、4月26日(木)に簡易書留速達郵便にて合格通知書及び入学手続の案内を発送します。

[入学手続期間] 平成30年5月1日(火)～5月11日(金)

窓口受け付けは、各日とも9時から17時まで(正午～13時及び土日祝日を除く)とし、郵送の場合は簡易書留便により、入学手続期間最終日までの消印があるものを受理します。入学手続期間内に入学手続を完了していない場合や連絡がない場合は、本学への入学意志がなく、入学を辞退したものととして取り扱います。

10. 単位認定について

履修科目についての「専修証明書」を、大学から平成30年10月上旬に、本人宛に送付します。成績結果についての通知前の照会には原則として応じません。

11. シラバス(授業計画)について

本学における開講授業のシラバスはP.4～P.5を参照してください。

12. 問い合わせ先

<出願手続きについて> 奈良教育大学入試課 (TEL 0742-27-9126 FAX 0742-27-9145)
〒630-8528 奈良市高畑町
E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp

<本講座内容について> 奈良教育大学教務課教務担当 (TEL 0742-27-9123)

<特例制度による保育士資格の取得方法等について>
全国保育士養成協議会「保育士試験事務センター」
TEL 0120-4194-82 (祝日を除く月曜日～金曜日 10:00～18:00)
E-mail shiken@hoyokyo.or.jp
ホームページ <https://hoyokyo.or.jp/exam/qa/tokurei.html>

授業計画(シラバス)

授業科目名	福祉と養護	単位数	2単位
授業科目名(英語)	Child and Family Welfare	年度・学期	2018年度／前期
担当教員名	篠原拓也	曜日・時限	集中
授業の方法	講義		
授 業 の 概 要			
目的	<p>本科目では、社会福祉、児童家庭福祉、社会的養護、子どもの権利擁護のあり方と現代社会における意義を理解し、福祉専門職としての保育士に求められる知識と倫理、また解決がもとめられている現代的課題について理解と関心を深めることを目的とする。</p>		
到達目標	<p>①社会福祉、児童家庭福祉、社会的養護の概念と実際の制度についての基礎知識を得る。 ②現代社会における社会福祉、児童家庭福祉、社会的養護の意義について理解できるようになる。 ③子どもの権利擁護に関する意義と今日的課題について理解できるようになる。</p>		
Cuffet項目	2:教科・領域に関する基礎的知識と教育実践への具体化		
授業計画 (内容と方法)	<p>第1回 インTRODクシヨン:社会福祉のイメージ 第2回 社会福祉の理念・歴史的展開 第3回 現代社会における子ども観① 第4回 児童家庭福祉の理念・歴史的展開 第5回 保育士の今日的役割 第6回 様々な社会福祉施設・児童福祉施設 第7回 社会的養護の理念・歴史的展開 第8回 社会的養護の仕組みと実施体系 第9回 社会的養護の現状と課題① 第10回 社会的養護の現状と課題② 第11回 社会的養護の現状と課題③ 第12回 子どもの貧困、虐待、DV① 第13回 子どもの貧困、虐待、DV② 第14回 現代社会における子ども観② 第15回 まとめ</p>		
テキスト、参考図書、教材等	適宜授業でレジユメを配布する。		
評価方法	授業への取組み(40%)、期末レポート(60%)を総合的に評価する		
準備授業等			
受講上の注意、メッセージ等	子どもや子育て家庭が抱える生活問題、またそれを緩和・解決するために求められる支援について考えていきましょう。		

授業計画(シラバス)

授業科目名	相談支援	単位数	2単位
授業科目名(英語)	Consultation support	年度・学期	2018年度／前期
担当教員名	横山真貴子・廣瀬聡弥・篠原拓也・松原未季	曜日・時限	集中
授業の方法	講義		
授 業 の 概 要			
目的	今日核家族化少子化など、家族を取り巻く環境の変化を背景として、子育てニーズは多様化し、保育士には保育所の子どもだけでなく、保護者や地域の子育て家庭を支援する知識や技術が求められている。この授業では、保護者や子育て家庭を支援する上で必要な基礎知識や技術について理解する。		
到達目標	① 今日の子育てをめぐるさまざまな問題と、保育現場での子育て支援のあり方について理解する。 ② 社会福祉援助技術(ケースワーク、グループワークなど)の基礎知識を身につける。 ③ 保育・社会福祉専門職に求められる価値・倫理を理解する。 ④ さまざまな子育て支援(気になる子の保護者への支援、絵本の読み合い)について理解する。		
Cuffet項目			
授業計画 (内容と方法)	第1回 子育て支援の意義と課題1 第2回 子育て支援の意義と課題2 第3回 気になる子と保護者への支援1 第4回 気になる子と保護者への支援2 第5回 子ども・子育て支援新制度における子育て支援:利用者支援など 第6回 保育現場における子育て家庭支援 第7回 特別なニーズのある家庭支援 第8回 地域の子育て支援の課題 第9回 相談援助に求められる自己覚知 第10回 ケースワークの理念と社会的機能 第11回 社会福祉における相談援助の事例1 第12回 児童家庭福祉における事例と演習2 第13回 子育て支援の実際1:絵本と子育て 第14回 子育て支援の実際2:絵本の読みあい① 第15回 子育て支援の実際3:絵本の読みあい②, 振り返り		
テキスト、参考図書、教材等	適宜授業でレジユメを配布する。		
評価方法	授業への取り組み(20%), レポート/テスト(80%)を総合的に評価する。		
準備授業等			
受講上の注意、メッセージ等	子育て支援や相談にかかわる講義や演習を通して、これまでの経験を振り返りながら、知識を広げ、支援の技術を高めていきましょう。		